



お知らせ

●「学校と家庭の交通安全リーダー証」の交付
目的/小学6年生が交通安全リーダーとして、自分自身や下級生、家族の交通安全に努め、将来交通ルールを守ることを期待して行っています。
対象/県内の小学校から指定したモデル校(74校)の6年生約3,500人です。

●春の全国交通安全運動
期間/平成11年5月11日～20日
重点/①シートベルトの着用の徹底
②高齢者と子どもの交通事故防止
③チャイルドシートの着用促進
行事/交通安全県民大会を5月11日(火)午後1時30分から、熊本市産業文化会館で開催します。

●熊本県交通事故相談所
時間/平日の午前9時から午後4時まで
電話/096-383-1111
(内線・7413.7414)
場所/県庁行政棟新館2階

時速60キロの衝撃は...
ビル5階(14メートル)から落ちると同じ。
大切な人の命を守ります。

①だれでも年とともに反射神経や体力は落ちてきます。これは仕方ないことです。このことをしっかりと自覚して、無理をせず、ゆとりを持って、この厳しい交通社会に対処しましょう。

①春は、新学期の始まりです。新一年生の心もはずんでいます。やさしい運転をお願いします。
②紅葉マーク(高齢運転者標識)などをつけた車、散歩中のお年寄りを見かけたら、思いやりの運転をお願いします。

交通安全はあなた自身の問題です!!



なぜシートベルトなの?
十四メートルの高さ(ビルの五階程度)から車ごと落ちる光景を想像してみてください。これは、時速六十キロでコンクリートの壁に衝突した場合と同じ程度の衝撃力です。あなたはこの衝撃に耐えられますか?

③ドライバーの皆さんへ
注意を払いましょう。また、横断歩道を渡るようにしてください。

④反射材は最寄りの警察署で販売しています。お気軽にお尋ねください。
⑤ドライバーの皆さんへ
春は、新学期の始まりです。新一年生の心もはずんでいます。やさしい運転をお願いします。

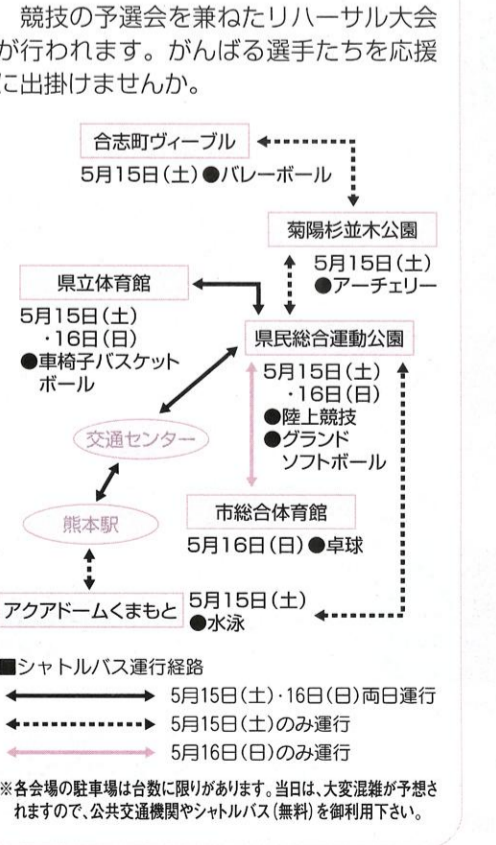
くまもと未来国体・ハートフルくまもと大会 だより

くまもと女性特派員レポート 「大会が終わっても学び続けたい」

今年の11月に行われるハートフルくまもと大会で、全国から訪れる選手の方々の役に立ちたいと、大会本番を心待ちにしているようでした。また、講師の方の「手話をきちんとできるようになるのも大事だけど、もっと大切なのはハートですよ」という言葉が心に残りました。最近手話を学ぶ人が増えていますが、障害のある方々とのコミュニケーションの場がもっともっと増えたらいいなと思います。
いろいろな人のいろいろな「がんばるが、いっぱい。」のハートフルくまもと大会。これから、とっっても楽しみです。

第54回国民体育大会
人、光る。くまもと未来国体
●観戦大会/平成11年 9月11日(土)～14日(火)
●秋期大会/平成11年 10月23日(土)～26日(火)
●お問い合わせ先/熊本県国体推進局
☎096-387-1999

ハートフルくまもと大会 リハーサル大会



くまもと未来国体総合開閉会式 入場券の販売について

6月上旬から各市町村に窓口を設けて、はがきで申し込みを受け付ける予定です。(詳細は6月号でお知らせします)
●お問い合わせ先
熊本県国体推進局総務課
☎096-383-1111 (内線7619)

がんばるが、いっぱい。
ハートフルくまもと大会
●開催日/平成11年11月6日(土)～7日(日)
●お問い合わせ先/全国身体障害者スポーツ大会推進室
☎096-387-2100

特集2 自由に、楽しく、広げよう、熊本の社会参加活動

社会参加活動ってなに?

平成七年一月の阪神・淡路大震災や平成九年一月の日本海での流出油災害におけるボランティアの活躍をきっかけとして、地域や社会に役立つ活動への関心が高まっています。ボランティアなどの活動は、福祉、環境、国際、交流、地域づくり、災害救援などの様々な分野で、大きな役割を果たしています。

皆さんも参加しませんか?

社会参加活動は誰もが自由にできる活動です。ここで二つの活動事例を紹介します。皆さんもできることから始めてみてはいかがでしょうか。
●本場の豊かさへ



高校生ボランティアグループ「わいわいHVC」リーダー 小林頼正さん(熊本市)

多くの方々に助けをいただきたが、お年寄りや自閉症の子どものための交流を中心に活動しています。「いろいろな年代の友達でいます。」「性格が積極的になった。」「価値のある時間の過ごし方を発見した。」「メンバーはそれぞれに、やりがいや楽しさを感じているようです。」



八年前北米を訪れた際に、「ボランティア」という文化が自然体で市民に根付いていることに驚かされました。これをきっかけに活動を始め、現在は国際交流やさまざまな世代との交流を行っています。活動では子どもたちもお年寄りも皆一緒に企画するようになっています。楽しみを分かち合うことができるし、ボランティアとして



A-risの会代表 山口温代さん(熊本市)

形にとらわれず、身近に行動を...
僕自身は、最初「ボランティアをしていません。」「と人前で言うことにためらいがありました。何となく参加しているだけだったし、良い子ぶっていると思われたくなかったからです。でも、施設のお年寄りから「ありがと」と言われたとき、心の中が満たされていくのが分かりました。多くのことを教わったり、豊かな気持ちにさせてもらっているのは、本当は僕の方でした。「ボランティアをしています。」「今ならはつきりと言ったことができます。一人でも多くの人が少しだけ勇気を出して始められることを願っています。」



アメリカモンタナ州 ナンシングホームでの「交流会」

「誰かが参加できる環境づくり」
県民誰もが、社会参加活動に進んで参加し、自由に活動できる環境づくりが、活動の輪が広がっていくように、啓発や機会づくりに努めます。また、活動の活性化が図られるよう情報の提供や人材育成などの環境づくりを進めます。

社会参加活動推進施策の体系
基本目標
●誰もが参加できる環境づくり
●パートナーシップ(協働)型社会づくり
●参加気運の醸成と機会づくり
●情報の提供とネットワークづくり
●活動しやすい環境の整備
●政策提言など県民の参画システムづくり
●パートナーシップ型事業の推進